

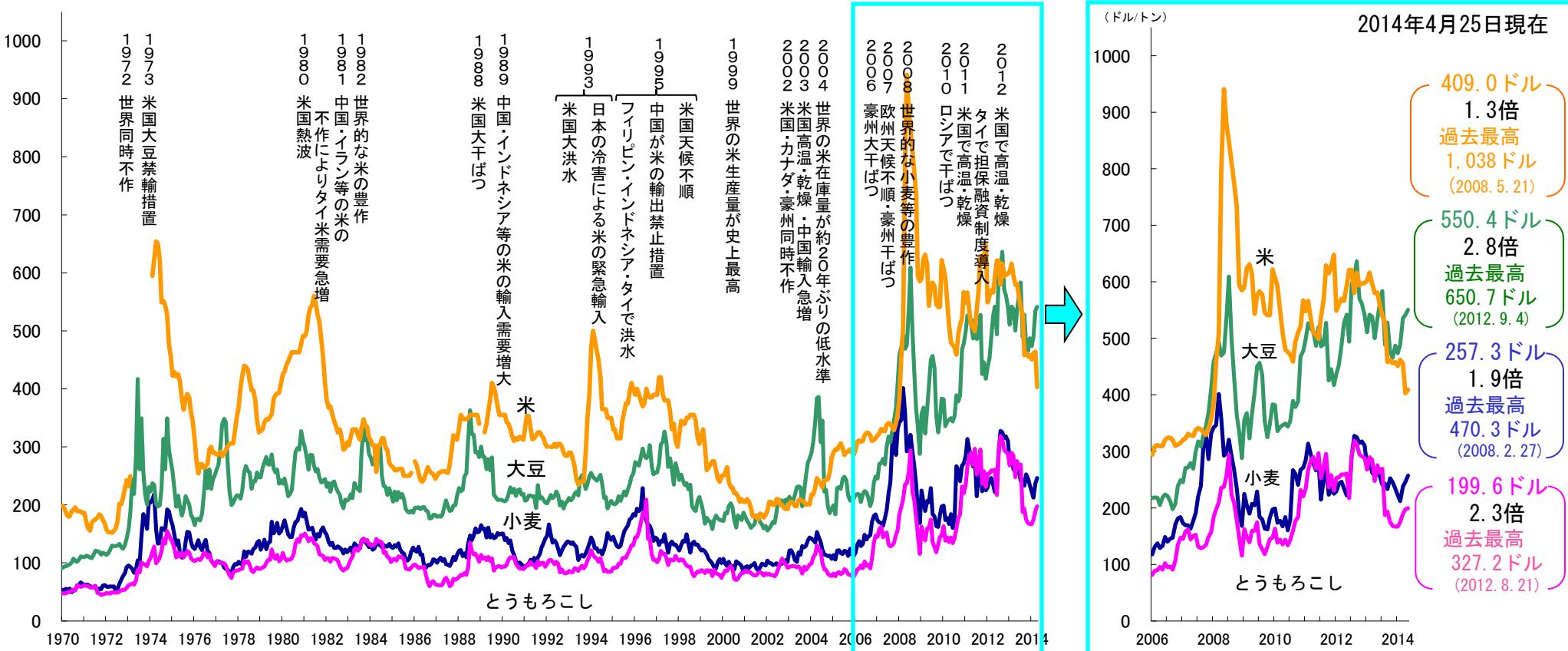
資料4 穀物等の国際価格の動向（ドル/トン）

○ 穀物等の国際価格は、2010年7月以降再び上昇し、現在は、2006年秋頃に比べ1.3~2.8倍の水準。

- 2012年6月以降の米国の高温・乾燥の影響から、大豆は、9月に史上最高値（650.7ドル/トン）、とうもろこしは、8月に史上最高値（327.2ドル/トン）。2013年7月以降、大豆・とうもろこし共に、米国産の豊作見込みから低下していたが、堅調な輸出需要や高温・乾燥による南米の大豆の作柄懸念から上昇。小麦は、2012年6月以降、とうもろこしに追随して上昇。その後低下したものの、依然高値を維持し、2014年2月以降、米国での乾燥・凍害懸念やウクライナ情勢から価格が上昇。
- 米は、2011年6月以降、タイで担保融資制度（実質的な国の買上げ制度）の再導入等により上昇。一方、輸出需要は、安価なインド産米等へシフト。2013年7月以降、タイで担保融資制度の見直しの動き、政府在庫米の一部放出等から低下。

□ 穀物等の国際価格の動向

ドル/トン



注：小麦、とうもろこし、大豆は、各月ともシカゴ商品取引所の第1金曜日の期近価格（セツルメント）である。

米は、タイ国家貿易取引委員会公表による各月第1水曜日のタイうるち精米100%2等のFOB価格である。

注1：各月第1金曜日（米は第1水曜日）に加え、直近の最終金曜日（米は最終水曜日の価格）を記載。

注2：過去最高価格については、米はタイ国家貿易取引委員会の公表する価格の最高価格、米以外はシカゴ商品取引所の全ての取引日における期近価格（セツルメント）の最高価格。

注3：図中の倍率は2006年秋頃と比較した直近の価格水準。